

伊万里 市議会だより

第15号

平成17年
(2005年) 10月



あっちへ行ってみようか? (「野生への挑戦」にて)



伊万里子ども太鼓 (「アイランド花どんたく」にて)

9月補正後の予算
一般会計：193億2,461万円
(対前年度同期△21億2,321万円、△9.9%)

- ★特集 (6~7ページ)
学校給食センターが新しくなります
- ★一般質問は11人 (9ページ~)

★第4回定例会は、12月5日(月)に開会の予定です。

平成17年伊万里市議会第3回定例会 会 期 日 程

9月

開議時刻 午前10時

日	種 別	内 容
5(月)	本会議	開 会 会議録署名議員の指名 会期の決定 市長提出議案等24件 ……一括上程 市長提出議案等の提案理由説明
7(水)	本会議	議案等に対する質疑
8(木)	本会議	議案等に対する質疑 決議案の上程(企業会計決算審査特委設置) 決議案の提案理由説明 決議案に対する質疑 決議案の討論、採決 特別委員会委員の選任 特別委員会正副委員長の互選 議案の常任委員会及び特別委員会付託
9(金)	休 会	特別委員会(交通網・港湾・企業誘致対策)
12(月)	休 会	特別委員会(地域医療整備対策)
13(火)	本会議	一般市政に対する質問
14(水)	本会議	一般市政に対する質問
15(木)	本会議	一般市政に対する質問 市長提出議案3件 ……上程
16(金)	休 会	常任委員会
20(火)	休 会	常任委員会
21(水)	休 会	正副委員長会
26(月)	本会議	市長提出追加議案9件 ……上程 市長提出追加議案の提案理由説明 市長提出追加議案に対する質疑 決議案1件、意見書案2件 ……上程 決議案等に対する質疑 決議案の討論、採決 議案の特別委員会付託 常任委員会報告 常任委員会報告に対する質疑 特別委員会中間報告 特別委員会中間報告に対する質疑 議案等の付議順序により討論、採決 閉 会

議会だより 二題

- ①今回から、定例議会の翌月15日発行としました。発行の当初から比べると1ヶ月早めたこととなります。
- ②全国表彰を何度でも受けておられる嬉野町議会から、長く編集に関してこられた議員を講師にお招きし、編集等についての研修会をしました。原稿の書き方についてのアドバイスもあり、できるところから活かしていきたいと思えます。



定例会会期日程・議案質疑など

議案質疑

■ 火災予防条例の改正

質問 法改正により、新築住宅は平成18年6月1日から、既存住宅は平成23年同日から、寝室などへの防災警報機、防災報知設備の設置が義務付けられるための条例改正だが、これに便乗して高齢者などへの悪徳商法を心配する。分かりやすいお知らせを工夫してほしい。

答弁 消防長

広報やケーブルテレビでのお知らせはもとより、老人会など各種団体への説明も行う。

■ 防空壕の安全対策

質問 鹿児島での事故を受けた国の調査により、市内では25箇所防空壕跡が確認されたが、今回の予算は危険を伝えるための看板設置のみである。根本的な対策が必要ではないか。

答弁 建設部長

防空壕は国策で作られたが、個人の所有地内にあり、現在は物置代わりに使われているものもある。今後の対応については、国レベルでの対策会議が持たれるので、その中で研究をしたい。

質問 万一の事故の場合、地元自治体の責任が問われることになりかねない。対策会議では、国が根本的な対策を打ち出すように強く要請してほしい。

答弁 建設部長

そのようにしたい。

次のことを審議し決定しました

議案番号	提 出 案 件	議決
議案第90号	伊万里市市営駐車場条例の一部を改正する条例制定	可決(◎)
議案第91号	伊万里市火災予防条例の一部を改正する条例制定	可決(◎)
議案第92号	伊万里市散弾銃射撃場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定	可決(◎)
議案第93号	公有水面埋立てによって新たに生じた土地の確認 (波多津町辻字野林地先)	可決(◎)
議案第94号	字の区域の変更 (波多津町辻字野林地先)	可決(◎)
議案第95号	伊万里・北松地域広域市町村圏組合を組織する地方公共団体の数の減少及び規約の変更	可決(◎)
議案第96号	佐賀県自治会館組合を組織する地方公共団体の数の減少	可決(◎)
議案第97号	佐賀県市町村消防団員公務災害補償組合を組織する地方公共団体の数の減少	可決(◎)
議案第98号	専決処分の承認を求めること (平成17年度伊万里市公共下水道事業特別会計補正予算 (第2号))	承認(◎)
議案第99号	専決処分の承認を求めること (平成17年度伊万里市水道事業特別会計補正予算 (第1号))	承認(◎)
議案第100号	専決処分の承認を求めること (平成17年度伊万里市工業用水道事業特別会計補正予算 (第1号))	承認(◎)
議案第101号	専決処分の承認を求めること (平成17年度伊万里市一般会計補正予算 (第3号))	承認(◎)
議案第102号	伊万里市教育委員会委員の任命	同意(◎)
議案第103号	平成17年度伊万里市一般会計補正予算 (第4号)	可決(◎)
議案第104号	平成17年度伊万里市国民健康保険特別会計補正予算 (第1号)	可決(◎)
議案第105号	平成17年度伊万里市介護保険特別会計補正予算 (第1号)	可決(◎)
議案第106号	平成17年度伊万里市公共下水道事業特別会計補正予算 (第3号)	可決(◎)
議案第107号	平成17年度伊万里市農業集落排水事業特別会計補正予算 (第2号)	可決(◎)
議案第108号	平成17年度伊万里市老人保健特別会計補正予算 (第1号)	可決(◎)
議案第109号	平成17年度伊万里市水道事業特別会計補正予算 (第2号)	可決(◎)
議案第110号	平成16年度伊万里市水道事業特別会計決算認定	継続審査
議案第111号	平成16年度伊万里市工業用水道事業特別会計決算認定	継続審査
議案第112号	平成16年度伊万里市国民健康保険病院事業特別会計決算認定	継続審査
議案第113号	特定事業契約の締結 (伊万里市学校給食センター (仮称) 整備事業)	可決(◎)
議案第114号	工事請負契約の締結 (平成17年度伊万里市公共下水道事業伊万里市浄化センター水処理施設機械設備工事)	可決(◎)
議案第115号	平成17年度伊万里市一般会計補正予算 (第5号)	可決(◎)
議案第116号	平成16年度伊万里市一般会計決算認定	継続審査
議案第117号	平成16年度伊万里市国民健康保険特別会計決算認定	継続審査
議案第118号	平成16年度伊万里市介護保険特別会計決算認定	継続審査
議案第119号	平成16年度伊万里市立花台地開発事業特別会計決算認定	継続審査
議案第120号	平成16年度伊万里市公共下水道事業特別会計決算認定	継続審査
議案第121号	平成16年度伊万里市農業集落排水事業特別会計決算認定	継続審査
議案第122号	平成16年度伊万里市伊万里駅周辺土地区画整理事業特別会計決算認定	継続審査
議案第123号	平成16年度伊万里市市営駐車場特別会計決算認定	継続審査
議案第124号	平成16年度伊万里市老人保健特別会計決算認定	継続審査
報告第7号	平成16年度伊万里市国民健康保険病院事業特別会計継続費精算報告	
決議案第3号	特別委員会設置に関する決議	可決(◎)
決議案第4号	特別委員会設置に関する決議	可決(◎)
意見書第5号	地方議会制度の充実強化に関する意見書の提出	可決(◎)
意見書第6号	自治体病院の医師確保対策を求める意見書の提出	可決(◎)

(◎は全会一致)

総務委員会

★所管 総務部、政策経営部、市民部(戸籍・住民登録等)、会計課、消防本部、選挙管理委員会、監査委員、他の委員会に所属しない事項

委員会に付託された9議案について審議の結果、全議案とも原案の通り可決・承認すべきものと決定いたしました。

伊万里市火災予防条例の一部改正は消防法の改正により条例整備するもので、主な改正内容は

- ①燃料電池発電設備および気体燃料内燃機関を原動力とする発電設備の位置、構造および基準を定め、10キロワット未満の設備の設置基準が緩和されたこと。
- ②一般の住宅に防災警報器または防災報知設備が義務化されたことです。

このため新築住宅はH18年6月1日、既存住宅はH23年6月1日から(スプリンクラー設置の免除建築物を除く)寝室等への機器設置および維持が義務付けられます。

一般会計補正予算は防犯灯設置助成金85万

9千円が増額され、今年度申請されている78行政区=145基全ての事業実施を計画しています。また中国大連市で開催される「伊万里梨」「伊万里焼」販売フェアを支援するための旅費等117万3千円。

消防施設整備関係では大坪町下古賀婦人消防隊に軽可搬ポンプ並びに予防活動用資器材。大坪町六仙寺地区、松浦町中通地区、山代町立岩地区の防火用水槽補修費補助金および大坪分団第4部の積載車格納補助金。携帯電話119番直接受信システム導入等の予算が計上されています。



大連での伊万里梨販売フェア

◎浜野 義則 ○川内 学 黒川 通信 草野 謙
樋渡 雅純 渡邊 英洋 内山 泰宏

文教厚生委員会

★所管 市民部(保健・福祉・環境・人権同和)、教育委員会、市民病院

付託された条例議案1件、補正予算議案4件、学校給食センター特定事業契約の締結に関する議案について慎重に審査し、原案の通り可決すべきものと決定しました。

学校給食センターに関しては、8月19日に開催した委員会で説明を受け、議論を行っており、それを踏まえての委員会となりました。多くの質疑がありましたが、最終的には、第一優先交渉権者との契約が全会一致で決まりました。5～6ページに概要を載せていますので、ご参照ください。(マスコミ3社、議員1名の傍聴がありました)

補正予算では、「新病院整備可能性調査事業」として、医療需要や将来の患者数を推計するなど中核的病院の整備に関する調査をコンサルに委託する予算約350万円があり、選択肢の一つである社会保険病院と市民病院との統

合などについての議論がありました。また、県の方針転換により市内へのスクールアドバイザー配置数が8校から6校に減少したことや、昨年度から小中学校でなされている「オンラインの佐賀体験活動支援事業」のあり方など、県事業に対する率直な意見交換をしました。今年度新築移転を予定していた障害児発達支援センター「ひまわり園」は、より優しい施設とするため、来年度までの2ヶ年での整備となります。また、東山代留守家庭児童クラブの施設内にトイレが設けられます。



学校給食センター予定地(左手に伊万里湾大橋をのぞむ)

◎堀 良夫 ○盛 泰子 前田 久年 前田 教一
岡口 重文 原口 弘 下平 美代

産業経済委員会

★所管 産業部、農業委員会

当委員会に付託された議案は、条例の一部改正1件、平成17年度伊万里市一般会計補正予算のうち、農林水産業費、商工費、及び災害復旧費（農林水産施設災害復旧費）であり、慎重審査の結果、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

条例の一部改正は、伊万里駅前市営駐車場を利用する場合、時間で料金が加算されていますが、1日500円以上は加算されず、24時間駐車しても500円とするものであります。

補正予算の主なものは、農林水産業費で、農道舗装や水路改良等小規模な土地改良工事に対する補助金2,000万円。県営事業で施行される老朽ため池整備、農免道路整備、海岸保全事業、農業水利施設予防保全事業に対する市の負担金約3,600万円、商工費で、観光客船「につぼん丸」が10月26日に伊万里港に初寄港することに伴い、歓迎式典を行う経費7万円等であります。

災害復旧費では、今年3月及び7月の豪雨による農地及び農業用施設の災害復旧事業に要する経費2,026万円であります。

なお、関係の現地調査を行いました。

- 1 伊万里市第2地区（大川）梨選果場
- 2 黒川町畑川内「加盛ため池」
- 3 黒川町七ッ島工業団地「大渡鉄工所」
進出予定地
- 4 黒川町七ッ島港湾用地「粗油貯蔵施設」
- 5 東山代町大久保「特定鉱害復旧箇所」



初入港するにつぼん丸

◎高木 久彦 ○貞方 喜延 山崎 秀明 山田 悟
 笠原 義久 岩橋 紀行 樋渡 伊助

建設委員会

★所管 建設部、水道部

委員会へ付託されました、予算議案3件、一般議案2件について、慎重審議の結果、原案のとおり可決及び承認すべきものと決定いたしました。

土木費の補正は、市道の維持補修及び改良舗装等に要する経費、地方特定街路整備事業等の県営事業負担金、地域住宅交付金制度を活用した市営住宅の補修工事に要する経費等をそれぞれ追加するものであります。

主な事業としては、市道整備事業として、1千750万円計上されており、これは市単独事業で予定していた市道改良事業について、地域再生基盤強化交付金事業における道整備

交付金を活用し実施するものであるとの説明を受けました。道路交付金 事業費の1/2

また、新規事業としては、防空壕対策事業として6万1千円計上されています。

これは、戦後60年以上放置された状態にある防空壕について、市民の安全確保並びに公共的指導により設置されたという経緯から安全対策のために看板を設置するものであるとの説明を受けました。



整備が進む黒川松島線（啓成中付近）

◎福田 喜一 ○満江 洋介
 島田 布弘 前田儀三郎
 占野 秀男 田中 啓三
 岩本 盛房

路線名	当初			→	9月補正後			
	事業費	財源内訳			事業費	財源内訳		
		起債	一財	交付金		起債	一財	
立岩・東分線	6,000	4,500	1,500	10,000	5,000	4,200	800	
重橋・中山線	12,000	9,000	3,000	15,000	7,500	6,300	1,200	
下平2号線	6,000	4,500	1,500	10,000	5,000	4,200	800	
古賀・正力坊線	4,000		4,000	5,000	2,500	2,100	400	
合計	28,000	18,000	10,000	40,000	20,000	16,800	3,200	

学校給食センターが 新しくなります！



特集
学校給食センターが新しくなります

老朽化が進み、多くの皆さんにご迷惑とご心配をおかけしていましたが、このほど新築するための契約議案を市議会で可決しました。来年秋からスタートの予定です。

「伊万里は焼き物のまちなのに、なぜ給食の食器は焼き物ではないのか？」という小学生の素朴な疑問に端を発した形になりましたが、議会でもかなり前から取り上げられてきた問題でした。財政難の折、一度に数十億の予算をつくるのが難しい中、新たにできたPFIという制度での実施を市長が提案し、研究を重ねてきました。

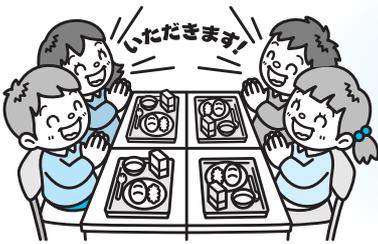
「市民に分かりにくい」とのご指摘があるようですので、今回、特集を組み、議会としての説明責任を果たしたいと思えます。

どんな給食センターができるの？

東山代町里のポリテクセンター跡地（7,652㎡、建物面積2,863㎡）

1日の供給食数6,100食。（最大7,000食）

- ・衛生管理機能が優れたドライシステム
- ・汚染作業区域（食材検収、下処理室等）と非汚染作業区域（調理室等）とを明確に区分
- ・調理場内を一定の温度・湿度に保つ空調設備
- ・米飯給食のための炊飯機器導入
- ・食に関する教育のための見学施設
- ・焼き物食器の導入（一部、小中学生からの応募作品）
- ・適温給食の提供・充実のための保冷コンテナ、二重食缶等の導入



PFI（プライベート・ファイナンス・イニシアチブ）ってなあに？

公共事業に民間の経営ノウハウを活用する試み。今回の計画では、建設だけでなく、維持管理や給食の配送まで含めて15年間にわたり担当してもらう。そのため、関係する事業者（設計・建設・運送・設備など）がグループをつくり、市が示した要求水準をもとにそれぞれに特長のある提案を行った。市は約27億円（建設に関わる費用だけでなく、運営段階に必要な費用等を含めたコスト）を15年間で支払う。

- 事業者任せの主な業務：本体施設・既存施設解体に伴う新配膳室の設計、本体施設・新配膳室の建設、既存センターの解体。また、施設建設後から15年間における本体施設・調理設備等の維持管理、給食の配送・回収。
- これまで通り市が行う業務：献立作成、食材調達・検収、調理、洗浄。

誰が審査したの？どのような点がポイントだったの？

建築・財務・衛生管理の学識経験者3名（市外）と助役・教育長の計5名が審査委員。50項目におよぶ提案内容の審査を合議制で行った。書類審査だけではなく、プレゼンテーション（提案者による説明と質疑応答）も。価格面600点、提案内容面400点の合計1,000点満点とし、加点方式で採点。

PFIでは事業の「質」が厳しく問われるため、具体的にどのくらい要求水準を満たしているか、それ以上の提案がなされているかがポイント。



決定したグループの提案は4億円も高かったとが聞いただけ？

そのうち3億円は配送に関連する。現在の4センターを一つに統合するため、給食開始時刻により近く配送することが大きな課題だった。配送車8台に2人ずつ乗り組み、しかも食器の事前配送をするなど学校教育の一環として安全性を考慮した提案が高く評価された。予備車1台あり。なお、事前のQ&Aの中で「現況と同程度での配送計画とし、安全上・衛生上支障が生じない提案をお願いします」との市の考えが示されている。1億円は、主にセンター本体の設計・建設費（調理設備を含む）などトータルとしての差。なお、従来の手法で建設する場合の価格と比較して、約27.5%のコスト縮減となる。（*現在価値換算）

「審査講評に偶然があるのではないか？」等の疑問が出されていますが…

- ・募集要項と同時に公表された「事業者選定基準」に、提案内容審査の採点方法として、次の表が示されている。

評価	評価内容	採点基準
A	特に優れている	配点×1.0
B	優れている	配点×0.6
C	やや優れている	配点×0.3
D	要求水準は満たしているが特に優れた提案はない	配点×0

- ・提案内容が、要求水準レベルであるとの判断でDランクとされた場合、採点は0点となるシステム。このため偶然の一致とは言えない。
- ・要求水準をクリアした上で、独自のノウハウで具体的な提案がなされることが必要であり、判断にあたっては、選定委員会での事業者による説明も、大きな要素を占めている。

★従来の民間委託とPFIとの違い

①包括委託のメリット

設計・建設・運営を一括して委ねることにより、運営費を意識した設計や、設計思想を理解した建設・維持管理が可能となる。

(例) 病院の管理業務を個別に委託した場合、室内清掃・消毒後にシーツ交換が入る場合あり。これを1社に委ねることにより、シーツ交換→清掃→消毒の順で、同一作業員が複数業務を行うこともでき、移動時間の合理化が図れる。

②長期間委託のメリット：ノウハウの蓄積によるコスト削減

具体的な仕事のやり方を事業者に委ねる「性能発注」のため、業務改善をコスト削減に結びつきやすくし、自発的な改善努力を引き出すしくみ。

(例) 今年度どんなに質の高いサービスの実現に努めても、来年度は低価格の提案を行った事業者に代わるかも知れないという状況では、長期的な視点から職員の研修や訓練を行うことの動機に欠ける場合もある。

③民間が資金負担することのメリット

総事業費を事業期間中に均等に払うため、初期における財政負担を軽くすることが可能。財政状況が厳しい自治体では、従来方式よりも早く事業に着手できる。

参考文献

『行政マンのための自治体PFI相談室』三井真

東洋経済新報社 2004.8

この本は市民図書館にあります

交通網、港湾、企業誘致対策調査特別委員会

特別委員会報告

1 西九州自動車道の整備について

唐津伊万里道路は無料化がほぼ決定のため伊万里東インターが縮小されるに伴い関係区及び地権者との詰め協議がされている。新たなインター設置予定の谷口、古里地区においては測量の結果、地形、勾配など一部、方線変更せざるを得ない状況にあり関係者との慎重な協議がされている。尚井手野地区等4地区において用地補足調査も行われている。

1 伊万里道路について

都市計画決定に向けた手続きと環境影響評価書作成が進められている。その他の主要道路、国道202号上伊万里交差点から十三塚橋、総事業費17億円中既に12億円が投資されほぼ順調に進められており、井手野、小麦原交差点歩道設置工事も18年度供用開始を目指している。他の県工事も「ちやく²

プロジェクト」に基づき鋭意取り組まれている。

1 港湾整備について

伊万里港港湾計画が平成17年3月に改定された。現在、国際コンテナ航路を4航路有し、コンテナ貨物の取扱量が平成16年度は約25,000本で、平成9年釜山航路開設時と比較して15倍になる。今後船舶の大型化等に対応した物流機能の充実、良好なアクセスの確保が図られることを期待する。

1 企業誘致について

山内町の大渡鉄工所が七つ島工業団地に進出、9月2日に協定締結等がなされた。

◎前田 教一 ○山田 悟 山崎 秀明
岡口 重文 内山 泰宏 樋渡 伊助
岩本 盛房 満江 洋介 福田 喜一

地域医療整備対策調査特別委員会

平成17年6月議会で新しく設置された委員会です。7月19日、9月9日委員会開催、8月2日～4日、先進地を視察しました。

1 地域医療整備について

地域医療整備におけるこれまでの経過、及び市民病院と社会保険浦ノ崎病院の統合を含めた今後の方向性について、説明を受けた。

病院統合については、これまで浦の崎病院と★全社連と協議を重ねられていたが、今回、保険庁とも協議が行われている。この地域医療整備における一つの選択肢である病院統合については、来年3月をめどに一定の方向性を出す。その判断の基礎資料を得るため、新病院整備可能性調査が計画されている。

現在の西部医療圏において、統合によるベット数の確保は重要な条件であり、社会保険病院の整理統合は、好機であるとも考

えられる。

この調査では浦ノ崎病院との統合も、一つの手法と位置づけたうえで検討を行っていくとされている。新病院整備の検討を行うに当たっては、統合という手段のみにとらわれることなく、地域医療、公的病院のあり方を多角的な視点から分析し、十分な検討を行いたい。

2 先進地視察

〔大分県中津市、大野市、熊本市〕

それぞれ特色のある経営である。地域完結医療。医療と対等の予防医療。医療圏における診療科目のすみわけ等、病院の特色ある機能、方向性の確立が重要である事を認識した。

◎下平 美代 ○前田 久年 樋渡 雅純
川内 学 堀 良夫 高木 久彦
笠原 義久 田中 啓三 浜野 義則

一 般 質 問

(質問順)

一般質問事項

議員名	質問事項	議員名	質問事項
田中 啓三 (総括)	1. 来年の市長選挙に向けての市長の考え 2. 伊万里市民図書館の負担金の見直しについて	樋渡 雅純 (一問一答)	1. 図書館サービスについて (1) ITステーション・データソフトの活用・充実について (2) 利用者サービスの拡大と取り組みについて 2. アスベスト実態調査と対策について (1) 実態把握の調査基準・方法について (2) 除去及びばく露防止対策について (3) 市民の不安への対応について 3. 「リフォーム詐欺」等の被害防止について (1) 被害及び相談の状況 (2) 対応策と啓発について (3) 成年後見制度の利用・促進について
占野 秀男 (一問一答)	1. アスベスト使用の実態と対策 2. 都川内森林公園に公認のグランドゴルフ場を 3. 統合給食センターの建設について 4. 職員の超過勤務について 5. 生活保護のあり方について		1. 市長就任以来、3年半が経過し、振り返ってみて、現時点までの伊万里市政の取組みと、評価について (1) 塚部市長が描く伊万里市像というものはどんなものか (2) 行政改革について ①市民へのサービスの向上を図りながら、効率の良い行政改革を行うべきだが、今後の取組みについて (3) 中核医療病院の開設をとの市民の声に対し、本市としてどの様に取り組み、どの様に対処されるのか ① 決定権を持った相手機関は何処なのか ② 今年度末までに、合意が出来るのか ③ これからのタイムスケジュールについて
貞方 喜延 (一問一答)	1. 消防機材整備について (1) 積載車更新計画について (2) その他機材の整備について 2. 伊万里市学校給食センター(仮称)整備事業について (1) 経過について (2) 優先交渉権者の決定について 3. 平成18年市長選について (1) 一期目の評価について (2) 二期目に向けての抱負は		
下平 美代 (一問一答)	1. クレー射撃場に指定管理者制度を導入する経緯とメリットについて 2. 独居高齢者・介護支援家族の緊急時における支援体制について	草野 譲 (一問一答)	1. 七ツ島工業団地内のレシード油施設について 2. 一部事務組合の運営について 3. 塚部市長は次期市長選に向けてどう考えているか
堀 良夫 (一問一答)	1. 伊万里市学校給食センター建設計画について (1) 計画経緯について (2) PFI事業について (3) 実施計画について	岩橋 紀行 (一問一答)	1. 農業振興策について (1) 推進体制をどう構築するのか (2) 農業振興3ヶ年計画にどう取り組むのか (3) 学校給食に於ける地場産の食材導入について
盛 泰子 (一問一答)	1. 「ひまわり園」について (1) 指定管理者公募問題 ① 公募と非公募の考え方 ② 原課の方針と選定委員会との意見が異なった際の対応 ③ 市議会文教厚生委員会報告の重みと今後 ④ 「兼業禁止」規定 (2) 施設建設の先送り 2. 県へ要請すべき事項について (1) 県立病院 ① 「西部地域への配慮」を強く求めるべきではないか (2) パスポート交付事務 (3) 乳幼児医療費の助成年齢引き上げ 3. 伊万里市のPRについて (1) ホームページに「特筆モノの視察項目」掲載を		
		渡邊 英洋 (一問一答)	1. 玄海国立公園の運営管理について (1) 竹ノ古場公園の用水確保及び障害者への対応 (2) 大平山公園における園内管理の不備について 2. 公共施設等のトイレ改善について
		福田 喜一 (総括)	

一般質問

来年の市長選挙に向けての市長の考え

田中 啓三

質問 塚部市長就任以来、3年半さわやか市政を中心に14年度から市民サービス向上、財政健全化計画又、職員の意識改革と多くの課題に取り組んでこられたが、次期市長選挙の出馬の考えと、二期目に向けての考え。

答弁 市長

市全体と暮らしやすいまちづくりを今後とも進め、来年4月の市長選挙に出馬を考えている。

又、市町村合併を反省として、さわやか市政を中心に取り組んでいき、公約であったファミリーパークの見直しについては、来年一部開園であり、今後見直しを含めすすめていく。

中核的病院の建設については、まず市民病院と社会保険病院との統合を、本年度中に社会保険庁と協議し、

基本合意を取り付けたい。

市民図書館の負担金の見直し

質問 図書館が開館から十年が経過し、予算減額される中、有田町・西有田町からの利用者が5万件になつていて、来年両町が合併することで、この時期に自治体からの負担金を考えるべきでないか。

答弁 市長

平成7年に開館以後、多くの方に利用頂き、市内外から51万件を超え職員も大変苦慮されている。今後、他の自治体の事例等も調査し、両町と協議を進めていきたい。

アスベストの実態と対策

占野 秀男

質問 市内にある小中学校、市民会館など公共施設のアスベスト使用の実態と今後の対策、また市民からの相談窓口や対応について考えは。

答弁 市民部長

市内公共施設の中には一部機械室などに使用されているが、市民が接しない場所ので飛散の危険はないが、今後国の基準改正に合わせ対応する。相談は保健所などの他、市民相談窓口でも応じたい。

市に公認グラウンドを

質問 ますます盛んになるグラウンドゴルフ競技も、県登録や県大会、九州大会に参加する人も多くなり、伊万里にも公認コースのグラウンドがぜひ欲しいが考えは

あるか。

答弁 市長

伊万里にも何とかしたいとひそかに検討していた。ご希望も多いことから黒川中学校跡地に計画実現したいと考えている。

給食センターの問題点

質問 統合学校給食センター建設がPFI事業で実施されるが、グループ間に四億円の差があるのに高額のグループを一位としたり、各提案に対する評価に問題はないのか等、市民から指摘があるが。

答弁 教育長

初めてのPFI事業で従来とは違い、各グループ事に設計、建設、維持管理、運営などの提案を得、PFI事業専門家など5名からなる審査委員会でも厳密に審査した結果で、経過や評価点などすべてオープンにしている。ご理解賜りたい。

消防機材整備について

貞方 喜延

質問 昭和46年から小型動力ポンプの導入が図られているが、厳しい財政状況にある今日、積載車の更新機材の整備が遅れているが、積載車、資機材の整備計画は。

答弁 消防長・市長

積載車は、20年経過を目安に、消防団の削減と部の統廃合活性化事業と合わせ、石油貯蔵施設備蓄対策交付金等の制度を利用して、消防団の付託に応じていく。

学校給食センター整備事業について

質問 民間資金活用による、公共施設等の促進に関する法律に基づき、提出された書類の一次二次の審査で四企業体とも要求水準をすべて満たしているのに高



一般質問

い方に優先交渉権者が決定されたのはなぜか。

答弁 教育部長

学校給食センターは、公の役割として衛生的で管理運営面でも安全安心な施設でなければならぬ。優先交渉権者の決定については、四企業体から提出された書類を、公平、公正、厳正に専門家の方3名と助役・教育長で審査された結果であり内容も高い方が良かったので決定された。

来年市長選について

質問 市長就任以来3年半が経過したが、評価と二期目に向けての抱負について。

答弁 市長

就任以来基本的には、市民の目線に立って市政を遂行してきた。財政の改革改善をやり、また中国木材、日本水産の誘致もした。今後伊万里湾の利活用をするため関係市町と連携をとっていく。

クレー射撃場に指定管理者制度導入

下平 美代

質問 ①サービスの向上、経費の節減を目的とする指定管理者制度を射撃場に導入する理由。②環境問題の対応は。③地元で制度導入の指針、方針の説明は。

答弁 教育部長

①射撃場は特殊の技術を要する施設であるため、直営では難しい。民間の能力を活用して、一定の効果を上げたい。経費節減にはつながらない。②水質検査、土壌検査については、市が従来通り責任を持って行う。③地元で説明はしたが理解は得られていない。

質問 現在使用中のクレーは白である。これまでの赤のクレーが見当たらない。クレーの処分について

答弁 教育部長

クレーは平成15年7月に

処分した分のマニフェストはある。

質問 クレー射撃場の今後について

答弁 市長

公的施設であり市の責任として管理する。地元対策も市の責務としてアスベストと同じと思うのでいろんな角度から対応したい。

一人暮らし(障がい者)高齢者の緊急支援体制

質問 緊急事態に対応するため連絡網の作成計画が在宅介護支援センターにある。駐在員の名簿の公表はできないか。

また、個人宅にも連絡網の貼付があれば速やかな対応となる。行政からの対応はできないか。

答弁 総務部長

駐在員の名前は区長会に要請してみたい。災害弱者の対応は、一律に行政からはできにくい。

学校給食センター建設計画について

堀 良夫

質問 平成14年11月、学校給食施設整備検討委員会において、既設四箇所の給食センターを一箇所(最大七千食)に統合する提言を受け、安全対策等課題点について、質問、提案してきたが、今日までの経緯を踏まえ、どのような実施方針か。

答弁 教育長

給食センターは衛生管理が最重要課題であり、食材の搬入、搬出を始め調理作業の動線に配慮し、複数の調理工程が可能な設備計画とし、事業全体に衛生管理対応としてHACCP導入の計画である。

質問 PFI事業は県内で初めての導入であり、議会にも市民にも分かりやすく説明する必要がある。事業手法の特性は何か。厨房設備の熱源のランニングコストは優先交渉権者が高い。検証はしたか。

答弁 教育長

PFI事業とは、民間の資金・経営能力・技術能力を活用し、設計・維持管理・運営等が一体的に行われることから、事業費を削減し、より効率的・効果的な公共サービスの提供が期待できる。熱源のランニングコストの検証はしていない。

質問 PFIは新しい事業であり、民間事業者による提案内容の評価は審査講評として公開されているが、公平性・透明性において分かりにくい点があり、市民の理解を高めるためにも議事録の開示は。

答弁 助役

5名の委員により、慎重かつ厳正な審査が実施されたと自負している。



一般質問

県へ要請すべき事項

盛 泰子

質問 ①県立病院の移転問題で、当初の報告書にあった「医療環境が手薄な県西部への配慮」の部分が完全に無視されている。市長として発言すべきだ。②パスポート交付事務が伊万里で行えるように。③乳幼児医療費助成を就学前まで拡大するように。

答弁 市長・政策経営部長 長・市民部長

①西部地域からのアクセスが良い所への配慮を関係首長と要望することに異論はない。②県からの権限委譲を受ければ、来年4月から市役所での交付が可能となるが、一方で県庁などでの取得は原則として不可能となる。市民の利便性が低下しないよう県と協議する。③県も年齢引き上げについての検討に入っているのので、引き続きしっかり要望していきたい。

ひまわり園と指定管理者

障がい児発達支援センターひまわり園には、専門性と継続性が求められる。議会としても「非公募」とする方針を是としていた。指定管理者を公募すべきではない。

質問 障がい児発達支援センターひまわり園には、専門性と継続性が求められる。議会としても「非公募」とする方針を是としていた。指定管理者を公募すべきではない。

答弁 助役・市長

選定委員会委員長として、配慮が足りなかったと反省している。今後については、指導者への期待等を考えると、現在の状況がベストであるとの検証ができれば、非公募とする。

質問 新たな施設の建設は2ヶ年計画となったが、補助制度に乗りなくても確実に実施すべきだ。

答弁 市長

そのように考えている。(2問省略)

図書館サービ
スについて

樋渡 雅純

質問 ITステーションの拡充とデータベースの利用について

答弁 教育部長

現在のシステムのリース期間が今年度完了することから、今後増設が可能かどうかも含め関係課と協議を行っていく。また今年五月に新聞のデータベースも導入し、現在職員の目に付くところに設置しているが、データベースの存在を紹介PRにつとめ設置場所も再度検討し利用拡大を図っていききたい。

質問 開設以来週48時間の利用時間であるが、全国的には延長の傾向に進んでいる。検討の余地はないのか。

答弁 教育部長

現状では時差出勤にならざるをえなくなり職員配置が手薄になる。直ちには現時点では困難だが利用者の

希望は聞いている。現在年間の利用日数も増やし、拡大に努めている。今後関係機関とも相談し研究していきたい。

「リフォーム詐欺」被害防止について

質問 一人暮らしや判断能力が不十分な高齢者を狙った詐欺が増。被害者を囲む家族、ヘルパー、民生委員、老人会等積極的かつ地道な広報活動が大事、具体的対策は。

答弁 総務部長

講座開催は平成15年6回、平均参加者65人程度で今年度は4回の開催を予定している。ヘルパーへの出前講座はまだだが、要請があれば出かけたが、啓発用リーフの数は十分足りている。相談があったものは被害金の実害はなく、取り戻している。早い相談があれば救済の道はある。

その他の質問

成年後見制度の活用
アスベスト対策について

塚部市長が描く伊
万里市像と云うものは
どんなものか

草野 謙

質問 6万市民の市長として伊万里市の将来にわたる、ビジョンと最重要目標をきちんと定め、市民に示す事が市長としての使命ではないか。

答弁 市長

私は伊万里市民の皆様を日本一の健康で長生きの町にしたい。食のまちづくり宣言等はその一環である。自然豊かな伊万里で良質な食材を生産者にお願ひし、消費者と観光誘致の活性化を促し、併せて健康で生き甲斐のある老後を、楽しめたい。

質問 市民へのサービスの向上を図りながら効率の良い行政改革を行うべきだが。

答弁 市長

第三次行政改革大綱を定



一般質問

七ツ島工業団地内のレシード油施設について

岩橋 紀行

め約72項目について行革に取組んできた。主なものはタウンミーティングやパブリックコメントの確立を図り、窓口サービスでは毎週火曜日を午後七時まで延長し、職員の期末手当等2.5%のカット市長以下特別職の報酬の減額を行った。更なる改革、改善に向けて努力して行きたい。

質問 浦ノ崎病院側からの合併の話の進捗度は？

答弁 市長

全社連、社会保険事務局を含め、話し合いを行って来る年の10月頃までに合意のメドを取り付けたい。

質問 様々な問題を解決し建設、診療開始までの計画は。

答弁 市長

あくまでも未定であるが話し合いがスムーズに行くと仮定してH19年度に工事の着工、20年度診療開始との基本構想案を描いている。

議する。企業誘致にも支障をきたすので、国・県には迅速に取り組んでほしい。

一部事務組合の運営について

渡邊 英洋

質問 伊万里・有田・西有田で運営されているし尿処理と火葬場は来年3月に有田と西有田の合併で組合構成が変更になるが、負担割合等はどうか考えているか。

答弁 市民部長

6月に連絡会議を立ち上げ、市の負担が増加しないように考えている。

次期市長選に向けて

質問 厳しい財政状況の中で最少の経費で最大の効果を知恵と工夫で推進して市民の期待に心えて欲しいが。

答弁 市長

長寿のまちづくり(食と健康)を柱に市民と行政が協働し観光倍増計画等を目指す。

農業振興策

質問 高齢化、後継者不足等、ますます厳しくなる農業に対して行政としてどう取り組むのか、特に担い手育成、これから集落営農が主になるが農業振興課の中に「集落営農対策室」設置の考えはないのか。また、平成18年9月より新しい給食センターでの6100食の学校給食が計画されているが、伊万里産米を始め経営栽培を含めてより多くの地場産品を食材として導入できないか考えをお尋ねしたい。

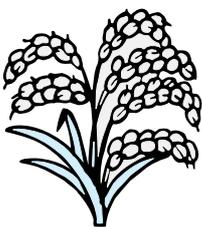
答弁 産業部長

今後、農業の中心となるべき担い手育成については、市、農業委員会、JA伊万里、農業改良普及センターを構成員として「伊万里市担い手育成総合支援協議会」を今年7月に設立した。今後この協議会を軸に

積極的に担い手育成に取り組みたい。また、「集落営農対策室」設置については、現産業部農業振興課においてこの集落営農に重点的に取り組んでおり、対策室設置については考えていない。

答弁 教育部長

米飯給食における伊万里産米使用については消費拡大の意味からも大変重要であり関係団体と十分協議を重ね、伊万里産米使用を検討して行きたい。また、地場産食材の使用は、食育の面からも、農業進行の意味からもきわめて有意義な事であり、契約栽培を含めて農業関係団体で十分検討され、その方策を提案していただきたい。



玄海国定公園の運営管理

福田 喜一

質問 竹の古場玄海国定公園頂上広場の用水確保が不十分であり、トイレの水も使えない状態である。用水の確保はどのようにされるのか。

答弁 産業部長
用水対策についてはボーリングをするか、別の所に水源を探すしかないのではと思う。イベントの時などには地元と協議をして、給水タンクの設置など考えたい。

答弁 市長
頂上広場への水対策としては三案を考えている。ボーリングをするか、辻の堂あたりに水源がないか、中央広場から頂上までポンプアップするか、今後の検討課題と思う。

質問 高齢者や障害者など身体の不自由な方々は、竹

の古場公園頂上まで行くことが困難である。今ある資材運搬道路の活用はできないか。

答弁 産業部長
イベントが開催される時は高齢者や障害者等には、今ある資材運搬道路の使用も可能と思う。又頂上には障害者用の駐車スペースも確保したい。

公共施設等のトイレ改善

質問 市民会館や各町の市が管理する公民館等に洋式トイレの数が少ない。高齢者や障害者が使用しやすいうような洋式トイレの数を増やしてもらいたい。

答弁 市長
市が管理する公共施設のトイレについては、高齢者や障害者が使いやすい洋式トイレに改善をしたい。障害者福祉計画を平成18年度に新たに策定する。この問題については改善検討委員会を考えた。

市議会議員研修会

年に一度、佐賀県市議会議長会主催の議員研修会が持ち回りで開かれています。今年は、合併により誕生した小城市の議員も加わり、多久市中央公民館ホールでありました。全国市議会議長会次長 向田正博氏を講師に迎え、「地方議会活性化への課題と方策」「三位一体改革動向と今後の対応」等のテーマで研修しました。限られた時間の中で多岐にわたる内容でしたが、かな

り重厚な資料を頂きましたので、改めて活用し、特に議会改革に役立てていきたいものです。



休日等の接待の禁止

公職選挙法の規定により、市長・議員は選挙区内の人に対して、酒食等を提供することが出来ません。国会議員、県会議員も同様です。どうぞご理解頂きますよう、お願いいたします。



編集後記

今回は、学校給食センター建設に関して、大きな判断を迫られる議会でした。PFIにより全国では既に20以上の施設が稼働していますが、市にとつては初めての取り組みであり、用語一つでも耳慣れない上、これまでの手法とは全く異なるため、市民の皆さんから疑問が出るのは当然だったかと思えます。そこで特集記事を組んでみました。いかがでしょうか？正確な情報を共有することが、的確な判断への基本条件ですから、今後ともこの議会だよりがその役割を果たせるように努力したいと思えます。ご意見ご希望をお寄せください。

◎盛泰子、○樋渡雅純、山田悟、貞方延喜、満江洋介、(顧問) 島田布弘、原口弘

発行 伊万里市議会

伊万里市立花町二三五―一
☎0955-1231-2111
☎0955-1221-1277
E-mail: gka@city.inari.jp
編集 市議会だより編集委員会
印刷 山口印刷株式会社